

(案)

緑化推進のプラットフォームとしてのグリーンバンクの役割

グリーンバンクは、本県緑化を推進するためのプラットフォームとして、緑化活動団体・民間事業者・行政をつなぎ、支援・協力・協働を推進します。

(施策方針)

グリーンバンクは、支店である市町と連携し、緑化活動団体への情報発信や支援、緑化思想の普及啓発等を通じて、活動団体間のコーディネートや活動の活性化、円滑化、民間事業者への協働の働きかけに努め、社会総がかりの緑化活動を有機的に広げていきます。

(取組の方向性)

(1) 人材育成の方向性

・研修の体系化

地域緑化の核となる人材を育成するため、これまで実施してきた分野別、段階別技術研修の体系を整理し、市町単独では実施しづらい総合的で目的指向型の研修体系を構築します。

・人材バンクの設置

研修の修了生や造園業などの専門家をグリーンバンクの人材バンクに登録し、地域ニーズに応じて、いつでも講師やアドバイザーとして派遣できる体制づくりを進めます。

・人材の活躍の場の提供

本店と支店の連携により地域緑化推進のための基盤づくりを進め、研修により輩出した人材が適材適所で活躍できる場を提供します。

・新たな担い手の育成

新たな担い手の掘り起こしのため、様々なイベントを活用して、緑化活動のPRを実施します。

(2) 地域緑化促進の方向性

・本店と支店の役割分担

県全体の緑化のプラットフォームであるグリーンバンク本店の役割と、支店である市町の役割を明確にし、市町支店を核とした地域緑化を進めます。

・地域の個性を活かす

地元の花苗の活用を推奨する等、地域の特徴を生かした地域主体の緑化を支援します。支援結果については実績の収集と把握を確実に言い、新たな事業展開に繋げていきます。

・専門的な人材の派遣

質の高い緑化を推進するため、花壇のデザインや花きの種類選定、景観との調和など、地域ニーズに応じて、専門人材を派遣します。

・市町の育成

地域緑化推進の最前線となる市町のレベルアップのため、市町担当者を対象とする研修会を開催します。

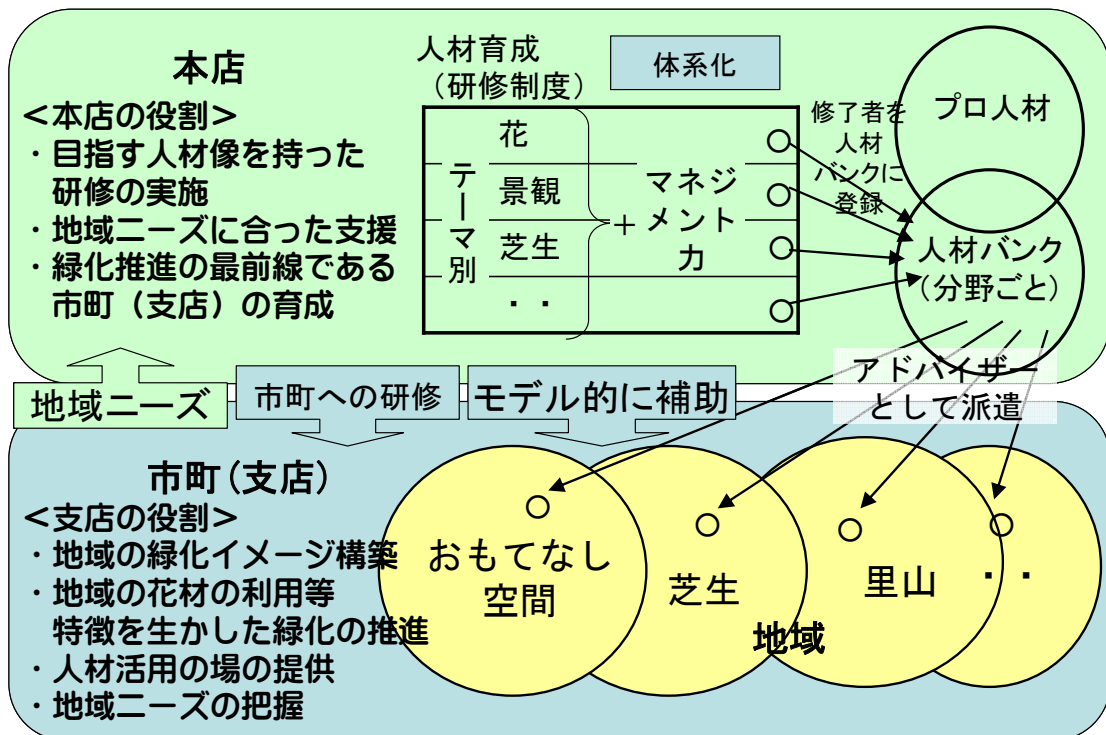
(3) 戦略的な事業展開

・合併のメリット

これまで都市緑化を推進してきた旧グリーンバンクと、中山間地の緑化を推進してきた緑化推進協会の両団体の垣根をなくし、それぞれがこれまで培ってきた技術やノウハウを結集・統合し、事業間の連携やスケールメリットを生かした取組を行います。

・戦略的な事業展開

芝生文化の普及や里山の保全、さらには国際イベント等の開催に合わせたおもてなし空間の創造といった、社会ニーズに即した、グリーンバンクだからこそできる戦略的な事業を展開します。



(公財) 静岡県グリーンバンクとは

昭和 52 年 1 月に、県民総参加の緑化事業の推進母体として設立された、本県独自の組織。

平成 29 年 4 月に、「緑の募金」により森林整備等の推進を担当していた「(公社) 静岡県緑化推進協会」と合併。

